

## ○「青雲の志」を持って一年間の生活を

始業式での私の話の一部を抜粋して載せます

あいにくの激しい雨ですが、こうやって皆さんと一緒に新たな一年のスタートが切れることをとても嬉しく思います。皆さんに、この一年間、心がけてほしいことを話します。

まず、三年生。昨日の入学式での「歓迎合唱」は気持ちのこもったものでした。来賓や保護者、新入生からは「素晴らしかった」「中学生はすごいと思った」などの感想がたくさん寄せられました。あたたかい合唱で一年生を迎え入れてくれた君たちにお礼を言いたいと思います。ありがとう。君たちなら「誇れる西中」の最上級として、学校をリードしてくれると強く思いました。

そんな三年生の皆さんに意識してほしいことがあります。君たちは**進路選択**という大きな課題に立ち向かっていかなければならないということです。この一年間は、「あの時、こうしておけばよかった」という苦い後悔をしないよう、地道に学習を積み重ねるとともに、自分の得意なこと・好きなことや将来について、よく考えてほしいと思います。

次に、二年生。代表生徒が先週の金曜日に登校して三年生代表とともに入学式の会場準備をしてくれました。本当にありがとう。

皆さんは、中堅学年となりますが、二年生の強みは、**中学校生活を一年間経験していること**で、**イメージを持って学校生活を送ることができること**です。暗闇の中を手探りで進むのではなく、去年の経験が自分の行く先を照らしてくれるはずです。大きな目標を立て、果敢にチャレンジしてください。「何もしないから失敗がない一年間」より「失敗してもよいから挑戦する一年間」の方が、はるかに意味があると思います。

次に、一年生。皆さんには、入学式で、西中の三年間で、心がけてほしいことを話しました。「**挑戦**」と「**お互いを尊重すること**」です。英語では、**Mistakes make People**と**Respect each other**を挙げました。三年間のよいスタートを切ってください。

最後に、西中の開校以来のキーワードである「**青雲の志**」について話をします。

本校では「青雲」という言葉がたくさん聞かれます。「青雲祭」(西中生徒会最大の行事である学園祭)、「青雲鐘」(本校の屋上に設置されている鐘)などです。

「青雲」という字は、青い雲と書きます。開校から78年を迎える本校で、ずっと大切にしてきたのが、「青雲の志」です。校歌の三番には「青雲の鐘 なるところ わが甲府西中学校」という歌詞があります。

「**青雲の志**」とは、現代風に言えば、**雲よりもはるかに上にある青空のように高い目標を持って進んでいこうとする気持ち**ということになります。皆さんにも、新しい年度の始まりにあたり「青雲の志」、つまりは、高い目標を持って、一步一步、進んでいってほしいと思っています。**現実の生活では、うまくいく日もあれば、うまくいかない日もありますが、「毎日、少しずつでよいから、進歩しよう」と心がけて生活する**ということでもよいと思いますし、高い目標を持つことが、くじけそうになる自分を支えてくれると思います。

最後になりますが、ここにいる西中学校の先生やスタッフ全員は、「自立」へと向かう、皆さんの中学校生活が充実したものとなるよう、全力で、君たちをサポートするためにいます。

一年間、ともに進んでいきましょう。